

News Letter

■2009年7月22日発行 ■編集・発行／三重大学高等教育創造開発センター

2009年度 放送大学「大学のマネジメント」の受講と フォローアップ学習会

② 三重大学における事務系の職員の資質開発

三重大学では、総務部の職員チームの提案のもとで、放送大学を利用する事務系の職員の資質開発(スタッフ・ディベロップメント:SD)を支援しています。具体的には、三重大学の事務系の職員が「今日の社会環境のさまざまな変化に適切に対応できるように、職務上の幅広い知識や専門的な技術を修得させるため、職員の資質の向上を図る」ことができるように、放送大学の入学料、授業料等を大学の経費で負担し、これを支援しています。

② 取り組みの概要

2009年度には、放送大学の大学院の科目である「大学のマネジメント」(2単位)を受講する職員を対象として、学習内容の理解を促して知識の定着を図るために、フォローアップの学習会を実施することとしました。

学習会を実施する主な理由として、放送大学が遠隔授業であるために、個別に学習をしている受講生の孤独感や不安を払拭させたり、不明な点について受講生が相互に補完しあったり、受講内容に関する受講生の日常的な経験や知識を共有したりすることがあります。

学習会の参加者を募集するために、2009年度の放送大学の受講生が決まる1月末に、科目の登録者に電子メールで参加を呼びかけました。その結果、3名の受講生、そして1名の元受講生から参加の申し出がありました。そこで、このメンバーと、ファシリテーターを務める高等教育創造開発センターの専任教員が、事前学習会と5回からなるフォローアップ学習会を実施しました。

② 学習会の内容と方法

次に、各回の学習内容を説明します。まず、「大学のマネジメント」の受講が始まる前に、事前学習会を実施しました(2009年3月25日)。事前学習会を実施した目的は、「今、なぜSDが必要になっているのか」について、職員がその背景を理解することによって、「大学のマネジメント」を受講する意義を今一度確認するためです。主な内容は、専門職としての大学職員、キャリア形成のあり方の変化、大学職員の役割についてです。また、学習のための基本的な情報リソース、SD関係の参考文献に関する情報を共有しました。事前学習会では、学習

会の日時その他の進行方法についても検討しました。

科目の受講が始まった4月以降には、15回からなる「大学のマネジメント」の学習内容を分割して、1回の学習会あたり3回分の学習内容をフォローアップしました。多少の変更はありましたが、学習会は3週間に1度の頻度で実施しました。

第1回の学習会では、第1回～第3回の学習内容を3名の受講生がそれぞれ1回分ずつを担当し、担当部分の学習内容の要約を作成して、これをもとに各回における学習のポイントや関連情報を口頭で説明しました。他の受講生、ファシリテーターは、担当者の説明内容をもとに各回の学習のポイントを確認したり、各人の経験やそれぞれが持ち寄った関連情報を共有したりしました。第2回から第5回の学習会についても同様の手順で進めました。



各回の学習会における学習内容は次のとおりです。

第1回学習会(2009年4月14日(火))

- ① 大学を巡る環境変化
- ② 大学という組織の特性
- ③ 大学事務職員の現状と能力開発の必要性

第2回学習会(2009年5月19日(木))

- ④ 外国の大学マネジメント:アメリカ
- ⑤ 外国の大学マネジメント:イギリスの大学, ボローニャ・プロセス
- ⑥ 大学広報・学生募集戦略

第3回学習会(2009年6月11日(木))

- ⑦ 国公立大学の人事・労務・財務
- ⑧ 私立大学の人事・労務・財務
- ⑨ 大学の教務・学生サービス

第4回学習会(2009年6月29日(月))

- ⑩大学の研究管理
- ⑪評価と大学経営
- ⑫大学の危機管理

第5回学習会(2009年7月15日(水))

- ⑬大学改革の実際:国公立大学
- ⑭大学改革の実際:私立大学
- ⑮21世紀知識社会と大学のマネジメント

学習スキルに関する説明会

以上の5回にわたるフォローアップの学習会に加えて、学習を円滑に進めるための学習スキルに関する説明会を実施しました。具体的には、附属図書館の関係者による新聞記事の探し方講習会、ファシリテーターによるレポートの作成法に関する説明会です。

新聞記事の探し方講習会については、「大学のマネジメント」の学習内容について理解を深めるためには、大学や大学を取り巻く環境に関する新しい情報を得ることが重要であると考えて、附属図書館の情報リテラシー担当の図書館員に、第1回の学習会の後に、効果的な新聞記事の探索方法に関する説明をしていただきました。主な説明の内容は、新聞記事データベース、効果的な探索方法三重大学に所蔵がない資料の取り寄せについてです。また、「大学のマネジメントについて調べてみよう」というパスファインダー(特定のテーマに関する情報探索を支援する教材)についても作成していただき、附属図書館のWeb上から利用できるようにしていただきました(<http://www.lib.mie-u.ac.jp/pathfinder/index.html>)。大学のマネジメント

に関するキーワード、主要な二次資料、専門事典、専門雑誌を一覧できる教材を得たことによって、受講生はより効率的に情報を探索できるようになったと考えられます。



次に、レポートの作成法に関する説明会については、科目の課題である中間レポート(1,000字以内)の作成を支援することを目的として、5月の中旬に実施しました。その内容は、テーマを設定する方法、レポートの骨組みとその作成法、段落の構成とその作成法、参考文献の表記法などです。また、受講生の必要に応じて、ファシリテーターが提出前のレポートを添削しました。

おわりに

個々の受講生による学習と以上の学習会等における学習をもとに、現在、受講生は最終試験の準備をしています。今後の課題は、「大学のマネジメント」の受講によって得た知識が日常の業務においてどのように役立ったのかについて明らかにすることです。

(高等教育創造開発センター 長澤多代)

講演会のご案内(三重大学全学FD)

「大学のマネジメントに関する講演会」

大学内外の環境が大きく変化している現在、大学はどうあるべきなのか。三重大学の職員が、現実に関面する諸課題を適切に解決するために重要になる大学マネジメントのあり方について、「大学のマネジメント」の講師である山本眞一先生をお招きして、お話いただきます。

日時: 2009年
8月7日(金)
 15:00~17:00
 (懇親会:17:30~19:30)

講演者: 山本眞一 教授
 広島大学 高等教育研究開発センター センター長
 放送大学「大学のマネジメント」講師

対象: 三重大学に勤務する職員(非常勤職員を含む)
 管理職(部局, 全学)
 大学のマネジメント・大学の職員に関心を持つ教員

会場: 三重大学 医学部 臨床第2講義室

※参加者には、修了証を後日授与します。

懇親会のご案内: 17:30より、パセオにて懇親会を予定しております。
 参加をご希望の方は、7月27日(月)までに下記へお申し込み下さい。
 高等教育創造開発センター Tel:059-231-5615 (内線:3771)
 Email: center@hedc.mie-u.ac.jp

| | |
|---|---|
| 大学のマネジメントに関する講演会 | 平成21年度 三重大学全学FD |
| | 講演者 山本眞一 教授 |
| | 広島大学 高等教育研究開発センター センター長 放送大学「大学のマネジメント」講師 |
| | マネジメントはなぜ必要になったのか |
| | 大学の職員に求められる役割とは |
| 大学内外の環境が大きく変化している現在、大学はどうあるべきなのか、三重大学の職員が、現実に関面する諸課題を適切に解決するために重要になる大学マネジメントのあり方についてお話いただきます。 | |
| 主な対象者 | 三重大学に勤務する職員(非常勤職員を含む) 管理職(部局, 全学) 大学のマネジメント・大学の職員に関心を持つ教員 |
| 会場 | 三重大学 医学部 臨床第2講義室 |
| 日時 | 2009年 8月7日(金) 15:00~17:00 懇親会:17:30~19:30 |
| 懇親会のご案内 | 講演会終了後、17:30よりパセオにて懇親会を予定しています。参加をご希望の方は事前にお申し込み下さい。 懇親会申込と併せて7月27日(月)までにお申し込み下さい。 |
| お申込・問合せ先 | 高等教育創造開発センター Tel:059-231-5615 (内線:3771) Email: center@hedc.mie-u.ac.jp |
| 主催 | HEDC |